

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名：「SMFアートのわっ！ー あつまれアートのつむじ風」

(＊SMF は昨年度の文化庁芸術拠点形成事業の運営を担った  
暫定的なネットワーク Saitama Muse Forum の略称)

事業者名：同上 実行委員会(中核館：埼玉県立近代美術館)

住所：埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1  
埼玉県立近代美術館 内

TEL： 048-824-0110

FAX： 048-824-0118

HPアドレス： <http://artplatform.jp>

連携事業者名：入間市博物館 ALIT、うらわ美術館、川口市立  
アートギャラリーATLIA、川越市立美術館、  
東京電機大学理工学部、ほか

会場：埼玉県立近代美術館、北浦和公園、北浦和駅西口  
市街、うらわ美術館、川越市立美術館、川越市街、  
川口市立アートギャラリーATLIA、芝川鑄造、入間  
市博物館 ALIT、東野高等学校

事業期間：平成 21年 10月 16日 ～ 平成 22年 3月 15日



## 1. 館の使命と本事業の関係

埼玉県立近代美術館では、次の4つのミッションを掲げている。ー①美術と出会い、新たな考え方や価値を発見するための体験を提供します。②人々が集い、参加し、交流するための基地となります。③未来を創る子どもたちの感性と創造力を育みます。④地域や県民とともに進化する美術館を目指します。ー地域軸の強化、人的資源の発掘、交流、ネットワークづくりを主目的とする本事業は、②、④の使命と密接に関わるものである。また、学校との連携や子供を対象としたプログラム、諸ジャンルのコラボレーション、公園やまちでの新たなアートの展開などが、本事業に含まれておりミッション①、③にも即した内容となっている。

## 2. 企画内容

### ①事業目的

埼玉県内の公立美術館のいっそうの連携を図るとともに、各ミュージアムが拠点となって、地域の芸術資源の活用に向けたさまざまなプログラムを市民と協働で実施し、ミュージアムの地域基盤の強化をめざした。こうして形成された地域ネットワークを活かし、ミュージアムをキーステーションとして、市民・県民と県内で意欲的な活動を展開するアート系 NPO やアーティスト、大学等の諸機関を結ぶネットワークを形成し、県内の芸術活動の基盤整備と活性化に寄与することを目的とした。

### ②事業概要

本事業は、①「SMF アートの縁結びーミュージアムからつながる輪」、②「SMF アート縁日&ラウンドテーブルーあつまれアートのつむじ風」、③「SMF アート楽座ーアートな縁側 Take off」の3部門により構成し、各ミュージアムを拠点とした地域資源活用事業、アート楽市、ワークショップコレクション、回遊美術館、野外インスタレーションと創作ダンスのコラボレーション、ラウンドテーブル、アート楽座記念シンポジウムなど、多彩なプログラムを埼玉県立近代美術館と各ミュージアムで展開した。





## (2) 参加者の数

参加者人数 延べ 13,170 人

内 訳：アートの縁結び 計 1,610 人

(入間：1,200 人、川越：10 人、川口：290 人、  
北浦和：30 人、浦和：80 人)

アート縁日&ラウンドテーブル 11,500 人

(公園催事来場者 3 日間計 10,070 人、ワーク

ショップコレクション計 90 人、ラウンドテーブル 2 日間 計 80 人、空間音響ライブ 60 人、  
回遊美術館(商店街・市街) 3 日間計 1,200 人)

アート楽座シンポジウム：60 人



「風の娘たち」のひとこま (11 月 23 日北浦和公園)

## (3) 事業により作成した印刷物等



### 印刷物等作成部数

- ・個別プロジェクトチラシ (上段)
  - A4 判 各 10,000 部
- ・全体チラシ (下段左)
  - A3 判 20,000 部
- ・ガイドパンフ (下段中)
  - A4 判 各 5,000 部
- ・記録集 (下段右)
  - A4 判 本文 24p 2,000 部
- ・DVD (右) 約 20 分の動画記録 200 部
- ・川越アートマップ (右端) B3 判 7,000 部



(4) 実施事業に関する新聞記事等



### ○主要新聞記事

①読売新聞 11 月 19 日：「街角、店舗で芸術作品展 芸術家ら集い北浦和で 21 日から」

(左上) ②朝日新聞 11 月 20 日：「アート<sup>①</sup>の輪」描くかざぐるま 市民が作った 3600 本、野外展示 23 日 さいたま・北浦和公園 (左下) ③朝日新聞 11 月 24 日：「かざぐるま、アートに回る」 ④ 埼玉新聞 11 月 24 日：「一面に風の花 北浦和公園で野外アート」

## ○テレビ、関連誌等

①NHKテレビ「こんにちは いっと 6けん」11月22日放送  
②NHKテレビ「ゆうどきネットワーク」12月15日：「キューポラのいま・むかし」放送  
③ケーブルテレビ J:COM さいたま「Hometown さいたま」11月29日～12月5日放送  
④埼玉県立近代美術館ニュース『ソカロ』2009年10・11月号  
⑤『ソカロ』2010年4・5月号

#### 4. 事業の成果及び今後の課題（参加者の意見を含む。）

「アート縁結び」事業では、特色ある建築空間やなじみ深い芸能、産業遺産としての鋳物工場など、それぞれにユニークな地域の文化資源の活用を試みるプログラムが地域との協働で実現され、各ミュージアムが地域基盤を強化する重要な手がかりとなった。「アート縁日&ラウンドテーブル」事業では、幸い好天にも恵まれ戸外を中心に多くの来場者・参加者があり、アンケートの結果もたいへん好評であった。「ラウンドテーブル」には、県内でユニークな活動を展開するアート系 NPO、アート関係者など、のべ 80 人以上が参加、これを受けた「アート楽座」設立記念シンポジウムとあわせ、活動発表、意見交換を行い、交流と今後の協働、ネットワークづくりに向けて貴重な契機となった。

アート関係者のさまざまな協働のゆりかごとして機能し続けるとともに、今後はインターネットを活用して情報共有・連携と発信力強化を図る「アートバンク」、アート関係者が集いさまざまな地域資源の活用を機動的に試行する「アート楽座」を一体的に活用して、新たに生まれたさまざまな出会いや関係を組織化しネットワークとして定着させ、持続的な活動基盤を確保することが、重要な課題である。